2013/6/12

掲示板型社内情報共有ツール「rakumo ボード」β リリース

～ソーシャルメディアの力を社内の情報共有に活かす Google Apps 拡張サービス～

株式会社 日本技芸

株式会社日本技芸（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：御手洗大祐、以下日本技芸）は Google Apps™ for Business（以下 Google Apps）の拡張サービスである「rakumo」シリーズの新製品として、社内の情報伝達・コミュニケーションを促進・活性化する情報ダッシュボードアプリ「rakumo ボード」のオープンベータ版を本日より公開、無料トライアルの申込み受付を開始いたします。

▶ 製品紹介＆申込ページ URL：http://rakumo.gigei.jp/product/board_special/

1. rakumo ボードについて

rakumo ボードは、情報共有による組織の活性化を期待される企業の皆様のニーズにお応えし、多くの企業で慣れ親しまれている「掲示板」のスタイルを取りつつも、近年のソーシャルメディアにおいてコミュニケーションの円滑化に貢献している機能やデザインを取り入れ、社内におけるインターナルな情報発信と共有を簡単・手軽に行える情報ダッシュボードとして企画・開発いたしました。

手触りの良い操作感と、使う人を迷わせない画面デザインや、他の rakumo アプリケーションとのデータ/機能連携によるスムーズな操作性の実現などユーザー体験品質の向上が、スタッフの情報発信行為を活性化すると同時に、組織運営の効率化、高品質化をサポートします。

2. 開発の背景と今後の展開

近年、企業が事業継続性や IT システム投資の有効性と効率性の観点から、Google Apps を業務用の情報基盤として採用する事例が増加しています。それに伴い Google Sites（Google Apps に標準で用意されている Web サイト構築ツール）を使ったイントラネット構築のニーズも増加しつつありますが、高機能ではあるものの初心者には難しいインターフェースでありシンプルに使えないこと、新着情報が分かりにくく既読未読の管理ができないなど、業務での活用には多くのハードルがあることが指摘されています。結果、Google Sites では社内の情報共有ニーズに十分に応えることが難しいとの判断から、別途グループウェアを利用しているケースなども散見されています。

rakumo ボードでは、社員が権限に応じて投稿・閲覧可能というオーソドックスな掲示板の要素だけでなく、アクティビティの一覧化や、既読や未読の確認といった業務上のコミュニケーションを円滑かつ合理化する機能を盛り込むほか、親しみやすく、誰もが楽しく利用できるデザインの採用、さらに投稿に対してのコメント機能だけでなく、近年のソーシャルメディアでは一般的な、ボタン一つでポジティブフィードバックを返すことのできる「グッジョブ！」ボタンなどを備えることで、同僚とのより距離の近いコミュケーションをサポートするツールを目指しました。さらに他の rakumo シリーズとの機能連携を想定しており、当社の他サービスを同時にご利用いただくことで他サービスとデータ・プロセスが連携し、効果的にサービスをご利用いただくことが可能です。

本ベータ版においては rakumo カレンダーを併用している際に、rakumo カレンダーの予定登録画面からの掲示板投稿を実現しました。これにより、部内のイベント日程を予約するのと同時に、rakumo ボードでのイベント告知を行うことができ、従来であれば個別のアプリケーションから別の作業として行うべきものを、1 つの作業として行うことができ、作業の利便性を上げると共に、作業忘れを減らします。

正式版ではさらに使いやすい機能の充実を図り、将来的には rakumo ワークフローとの連携も実現するなど掲示板としてだけでなく業務ダッシュボードに近い拡張性を追求していくほか、他の rakumo シリーズと同じくスマートフォンにも対応、企業の多様化するワークスタイルにあわせた導入・利活用促進を予定しています。

3. 製品の特徴

(1)マニュアル不要な、誰もが使いやすい画面デザイン

rakumo ボードでは、rakumo シリーズの特徴である手触りの良い操作感と使う人を迷わせない画面デザインを踏襲しました。ソーシャルメディアに今まであまり触れたことのないお客様、はじめてご利用になるお客様にもすぐにご活用いただけます。

たとえば、投稿内容をリスト化するのではなく、現実にある掲示板をモデルにしたデザインを採用することで、まるで目の前にポストイットが並んでいるかのような、視覚的にも分かりやすい工夫をしています。また、部署別・カテゴリー別など投稿を複数のボードに分けることができ、時間がない時には自分の部署の投稿のみを閲覧、ということも可能です。

また、メーリングリストだとつい埋もれがちな様々な投稿も、rakumo ボードでは一覧化することで抜け漏れを防ぐことができ、業務の効率化に寄与します。

(2)「グッジョブ！」ボタンや写真共有などの社内コミュニケーションを活性化させる仕組み

一般的な掲示板機能に加え、読み手に意味のある投稿に対してフィードバックするための「グッジョブ！」ボタンや、画像貼付け機能※など、社内コミュニケーションを活性化するための仕組みを数多くの要素を盛り込みました。

さらにリッチテキスト編集機能も備えており、無味乾燥になりがちな掲示板でも表現豊かに発信することが可能となります。これにより、同じ勤務環境で働く仲間の新しい一面を知ることができ、コミュニケーションを通じてお互いにいい刺激を与え合うことで、仕事の活性化へと繋がるといった、単なる掲示板機能に留まらない役割を寄与することができます。

※今後は、動画埋め込みにも対応予定です

(3) rakumo シリーズとの連携による機能拡張

rakumo ボードでは、より業務を効率化させるために、既存の rakumo シリーズとの連携を実現させました。本 β 版では「rakumo カレンダー」との連携により、カレンダーに登録した予定がボードへも自動反映され、普段カレンダーを見ない、あるいは社内メールが埋もれがちな社員へしっかりイベント情報を伝えることができます。また rakumo ボードへの投稿と同時にカレンダー上での出欠確認促進が可能となり、イベント告知から参加管理までの作業を効率化すると同時に、スケジュール確保と告知、出欠管理といった個別の作業忘れを減らします。

β 版では rakumo カレンダーとの連携のみとなりますが、将来的には、rakumo ワークフローとの連携を通じて業務ダッシュボードとしての機能拡張などを予定しております。

※rakumo カレンダーとの連携には、別途 rakumo カレンダー（1 ユーザー105 円/月（税込））のご利用が必要です。

4. 試用方法

rakumo ボード特設サイト（ http://rakumo.gigei.jp/product/board_special/ ）のトライアル申込みフォームよりお申込みください。ご試用いただける準備が整い次第、順次ご案内させていただきます。

5. 試用特典

トライアルをご利用いただきましたお客様には、正式版をご利用いただきました際に初年度のみ特価対応（定価より 50%ディスカウント）いたします。

6. 試用の条件

- 弊社からの訪問、または電話、メールによる事例ヒアリングにご協力いただけること（ご利用事例として Web やパンフレットなど当社広報資料に掲載させていただくことがあります）
- トライアル期間中のサービス利用料は無料です

7. 試用期間

平成 25 年 6 月 12 日～平成 25 年 7 月 12 日
※ご提供状況に応じて試用期間は延長の可能性があります。

8. 正式版ご提供時予価

月額利用料 158 円（税込）/ 1 アカウント
*Google Apps for Business ライセンス料は除きます。
*本拡張サービスの導入には Google Apps for Business のご契約が別途必要です。

9. 利用環境

rakumo シリーズは、以下のブラウザ環境での使用を推奨しています。

- Google Chrome 最新版
- Firefox 最新版

10. パートナー企業、お客様からのコメント

＜ソフトバンクテレコム株式会社＞
株式会社日本技芸様が掲示板型社内情報共有ツール「rakumoボード」をリリースされることを心より歓迎いたします。「rakumoボード」は直観的に操作でき、誰もが使いやすい画面デザインを持つrakumoシリーズの特徴を踏襲しており、Google Apps for Businessとスマートフォンとを合わせてご利用いただくことで、企業ユーザーの皆様の社内コミュニケーションの促進・活性化が実現するものと期待しております。
弊社は、今後も株式会社日本技芸様と協力し、お客様に革新的なワークスタイルを提供し続けて参ります。

営業・事業推進本部　Google ビジネス統括部　Google 企画部
部長　谷口 修

＜株式会社証券ジャパン＞
株式会社証券ジャパンは、株式会社日本技芸様が新たに提供される掲示板型社内情報共有ツール「rakumo ボード」を、心より歓迎いたします。弊社では「rakumo カレンダー」及び「rakumo コンタクト」を利用しておりますが、IT に不慣れなユーザーでもその直感的で優れた操作性によりすぐに使いこなせるようになり、社内の円滑なコミュニケーションの一端を担っております。 今後、「rakumo ボード」が加わる事で、社内のコミュニケーション環境はより一層充実するものと期待しております。弊社は、rakumo シリーズの更なる発展の為、今後も日本技芸様に協力して参ります。

株式会社証券ジャパン　システム管理部

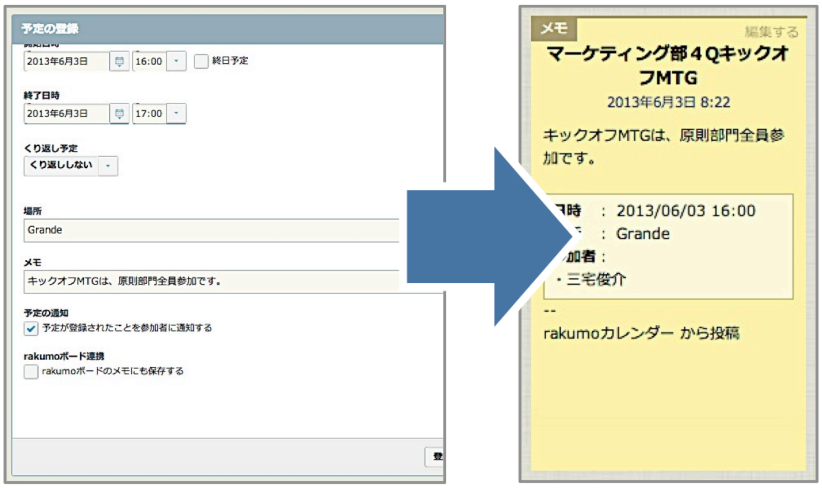
11. 画面イメージ（一部に開発途中の機能も含みます）

メインページ

投稿作成ページ

投稿詳細ページ

rakumo カレンダーとの連携イメージ



「rakumo」について

日本技芸が企画・開発を手がける、パブリッククラウドを活用したオフィスツールサービス群の総称で、2013 年 6 月現在、400 社を超える企業、95,000 ユーザー以上のお客様にサービスを提供しております。
プロダクトラインナップとして現在、Google Apps 版においてカレンダー（グループカレンダー機能）、コンタクト（共有アドレス帳）、ワークフロー、タイムレコーダーを、salesforce.com 社の force.com 版においてソーシャルスケジューラーを提供中であり、その全てにおいてスマートフォンにも無料で標準対応しています。
全てのプロダクトにおいて、特に業務プロセスを重視したサービス間の機能連携やユーザーの操作性を重視し「効率性」と「創造性」の点においてオフィスの生産性向上に貢献する業務サービスの実現を目指しています。

▶URL： http://rakumo.gigei.jp/

株式会社日本技芸について
株式会社日本技芸は、「10%先のコミュニケーションを今デザインする」として、インターネットサービスの調査から企画立案、制作・開発、運用までを総合的にサポート・提供する提案型ソリューション企業です。社会観察を通じて得られた独自のインサイトをもとに作ったサービスデザインを、様々なネットサービス開発を通じて得られた技術により実現し、豊かな社会の実現に寄与していきます。
URL： http://gigei.jp/

本件に関するお問い合わせ先
株式会社日本技芸
ビジネスサービス事業部 三宅（みやけ）
TEL：03-5948-6073
e-mail: rakumo_pr@gigei.jp

● 記載の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。